



七ヶ宿町立七ヶ宿中学校 望湖克己学館だより

伝統ある総合演劇発表 最後の公演 15年間支えてくださいました地域の皆様、本当にありがとうございました。

平成15年の初公演から15年間続けてきた総合演劇発表会が、11月4日(土)に地域の方々に惜しまれながら幕を閉じました。

最終となる今回は、「210人がつないだバトン～七中演劇の歴史を振り返って～」と題し、過去14年間の演劇を振り返り、七ヶ宿の素晴らしさの再確認と、今後の“理想の七ヶ宿”の実現に向けて何をすべきかを考えていくシナリオをつくりました。生徒たちは、これまで七中の伝統を引継ぎ、演じてきた先輩方の思いと、ご指導をいただいた地域の方々に対して、深い感謝の気持ちをもって、一生懸命演じました。

こうしてこれられたのも、ひとえに地域の皆様の支えがあったからこそと、心より感謝を申し上げます。



総合司会

第1幕「陽だまり」

第2幕「おすぎさん」

第3幕「振袖地蔵」

第4幕「追憶の不忘山」

「七ヶ宿町の紹介ビデオ」

第5幕「源流米」

第6幕「七中誕生物語」

実行委員長小松潤さんのあいさつより

今までつないできたバトンがゴールテープを切り、15年間の歴史が幕を閉じました。始まりがあれば終わりがあります。この長い歴史の一部にたずさわり、皆さんの前でこうして話すことが出来ていることに、私は感動すら覚えます。終わることは始まりでもあります。私はこれからも未来の七中を楽しみにしながら、皆さんと一緒に、見守っていきたいと思います。新たなバトンをつなぎ、新たなゴールを目指すその時まで……。15年間本当にありがとうございました。

取材講習会 (11/9)

11月9日(木)に、河北新報社との連携で取材講習会を行いました。1学年と2学年が参加したこの講習会は、11月13日(月)に行われた七ヶ宿町PR活動現地学習会につながるためのもので、生徒たちが、生産者の方々の話しを聞き、その思いをしっかりと知るためにはどのような質問事項を用意すべきなのか、また、どのようにまとめていくべきなのかを考える学習会でした。河北新報社の方々からアドバイスを受けるという体験は、なかなか出来るものではありません。午後からの2時間でしたが、生徒たちにとってはとても貴重な時間となりました。



七ヶ宿町PR活動現地学習会 (11/13)

11月13日(月)に、地域の方々の協力を得て、七ヶ宿町PR活動現地学習会を実施しました。この活動は、実際に販売をする生徒たちが、生産者の方々の苦勞と商品に込められた思いを知ることと、商品についての知識を深めることを目的として行われました。事前に取材の仕方について学習してきた生徒たちは、メモと鉛筆を手にして、真剣な表情で話しを聞き、まとめていました。

お忙しいにもかかわらず取材に協力して頂いた、和田達様、櫻井秀博様、そして八島徹也様に感謝申し上げます。



七ヶ宿小学校 学校だより

七つの里

千紫万紅～笑顔の花～〈学習発表会:11/18(土)〉

今年度の学習発表会は、全校合唱を皮切りに3つの劇と和太鼓を披露しました。子どもたちみんなが、持ち前のすばらしい個性を十分に発揮し、見ている人の心に残る演技を披露しました。まさにスローガンの通り、色とりどりの花が咲くように一人ひとりが輝いた学習発表会でした。当日は保護者の方々はもちろん、たくさんの地域の方々にお越しいただきました。本当にありがとうございました。



【はじめのことば(1年)】

息の合った楽しい踊りを交えた可愛いオープニングでした。



【ないた赤おに(1・2年)】

抜群の演技力と美しい歌声は会場を魅了しました。

あっと驚く仕掛けが満載の楽しい劇でした。



【どろぼう学校(3・4年)】



下級生が憧れる6人の魂のこもった庄巻の太鼓演奏でした。



【世界でいちばんやかましい音(5年)】

一人で何役もこなしての演技、舞台セットが見事でした。

【七小っ子 太鼓2017(6年)】

源流米作り～最終章～ 〈11/7(火)〉

7日(火)の午後、脱穀作業を行い、源流米作りも最終章を迎えました。台風や長雨の影響で予定より2週間以上遅れての活動でしたが、11月としては温かい秋晴れの下、5年生の子どもたちは熱心に取り組みました。脱穀作業後、ライスセンターでもみすりを行い、田んぼに干していた稲は2時間余りで玄米130kg程になりました。収穫米は、8日(金)の収穫感謝の会の日の給食のご飯として利用されます。



松村さんの教えをしっかりと守って安全に作業しました。



脱穀が終わって、大量の稲わらとともに記念撮影。

秋の味覚を堪能～関保育所との交流～ 〈11/2(木)・11/10(金)〉



サルやイノシシの被害に遭うことなく、大きな芋がたくさんとれました。

「燃えろよ燃えろ」の掛け声とともに息を吹きかける子どもたちでした。



2日(木)に芋掘り、10日(金)に焼き芋と1、2年生が関保育所の年長組の子どもたちと交流会を行いました。自分のマークが刻まれた芋が焼き上がって、たき火の中から取り出されるたびに、子どもたちの笑顔があふれました。